MoMAK
京　都　国　立　近　代　美　術　館

［展覧会］

左から、《宝飾手鏡》16 世紀末 トプカプ宮殿博物館蔵
《儀式用宝飾水筒》16 世紀後半 トプカプ宮殿博物館蔵
《スルタン・アフメト 3 世の施水場模型》1893 年 8 月 16 日 トプカプ宮殿博物館蔵

3 階 企画展示室【開催中】

トルコ文化年 2019

トルコの至宝
チューリップの宮殿 トプカプの美

20世紀初頭まで数百年間にわたり栄華を極めたオスマン帝国。その象徴として敬われたのは、トルコ語で「ラーレ」と呼ばれる花、チューリップでした。帝国内で盛んに栽培され、品種改良によって2000種もの多彩な姿を見せたラーレは、文学や美術においても好んで表現されました。

本展では、スルタンの宝物をはじめトプカプ宮殿に残る美術工芸品の中から、ラーレ文様があしらわれた品々をご紹介し、オスマンの優美な宮廷文化をご覧いただきます。また、オスマン時代に始まるトルコと日本との友好関係の歴史も振り返ります。

会期：開催中～ 7月28日（日）

友の会情報：特別解説会の実施報告　6 月 20 日
トルコの至宝　チューリップの宮殿 トプカプの美

本展を担当した梶岡主任研究員により、トルコの歴史、また何故チューリップなのかという背景からはじまり、代表的な作品をピックアップしての解説会となりました。

展示を準備した研究員ならではの、作品の質感や重さなどの話もあり、参加者はリアリティをもって展覧会を見て頂けたのではないかと思います。また、今回の解説会は、閉館後の一般のお客様がいない状態でおこないました。静かな展示空間のなかで解説を楽しんで頂きました。

3 階 企画展示室【予告】

ドレス・コード？　ー着る人たちのゲーム

制服、スーツ、Tシャツ、ジャージ、ワンピース、トレンチコート……。その時の気分で選ぶこともあれば、何をするか、誰に会うかえ決めることもあるでしょう。コスプレのように自分とは別の〈だれか〉になろうとすることだってあります。一方で、ファッションは「着る」だけでなく、「視る/視られる」ものです。特定の文化や社会、グループで通用するコードがあり、そこから駆け引きあるいはゲームにも似た自己と他者とのコミュニケーションが生まれています。インターネットとSNSの普及によって、誰もが自ら装いを自由に発信できるようになった現在、私たちとのファッションのかかわり方もまた新しい局面を迎えています。本展では、ファッションやアートのほか、映画やマンガなどに描かれたファッションも視野に入れながら、現代社会における新たな〈ドレス・コード〉、わたしたちの装いの実践（ゲーム）を見つめ直します。

会期：2019年8月9日（金）～ 10月14日（月・祝）

左から、Vetements（デムナ・ヴァザリア） 2017 年秋冬　京都服飾文化研究財団所蔵、畠山崇撮影
ジェフ・クーンズ× LOUIS VUITTON　2017 年　京都服飾文化研究財団所蔵、木村太郎撮影
COMME des GARÇONS HOMME PLUS（川久保玲） 2009 年秋冬　京都服飾文化研究財団所蔵、畠山崇撮影
ミケランジェロ・ピストレット《ぼろぎれのヴィーナス》1967 年　豊田市美術館蔵 @Michelangelo Pistoletto

友の会情報：特別解説会の実施

日　時	8 月 31 日（土）18:00 ～ 19:00
定　員	先着 3 0 名
集合場所	当館 1 階ロビー
解 説 者	牧口千夏（当館主任研究員）
申込方法	申込先：京都国立近代美術館 総務係 電　話：075-761-4114 （月曜から金曜まで、10:00～12:00 / 13:00～17:00） メール：info@ma7.momak.go.jp （件名は「友の会特別解説会申込み」としてください） ※お申込みの際、お名前・会員番号をお伝えください

友の会

MoMAK Films
8 月 24 日（土）・25 日（日）
学園のドレス・コード

［イベント］感覚をひらくワークショップ
美術館ってどんな音
つくって鳴らそう建築楽器

ドレス・コード？
ー着る人たちのゲーム

トルコの至宝
チューリップの宮殿 トプカプの美

Topics　［展覧会］

July. 2019
News_no.68
発行：京都国立近代美術館　京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1
URL：http://www.momak.go.jp/

イベント・感覚をひらく

感覚をひらくワークショップ

美術館ってどんな音
つくって鳴らそう建築楽器

石や鉄、ガラスの音を聞いたことがありますか？カンカン・コンコン、どんな音がするでしょう。多彩な素材であふれた美術館を、音を頼りに歩き回ります。お土産は建築で実際に使われている素材を組み合わせてつくる建築楽器。建築が奏でる音を、一緒に探して持ち帰りましょう！

開催概要

日　程　2019 年 8 月 20 日（火）/ 21 日（水）

時　間　両日とも① 10：30 ～ 12：00　② 14：00 ～ 15：30

会　場　京都国立近代美術館

対　象　どなたでも（美術館が初めての方、視覚に障害のある方の参加も歓迎します）

定　員　各回 10 名（事前申込制・申込者多数の場合は抽選）
※小学 3 年生（9 歳）以下のお子さまが参加する場合は、保護者の方同伴でご参加ください。

参加費　500 円

協　力　山田宮土理（近畿大学建築学部建築学科 講師 博士（工学））
プロフィール：2008 年 早稲田大学理工学部建築学科卒業、2014 年 同大学大学院 博士後期課程 修了、2014 年 早稲田大学創造理工学部建築学科 助手、2016 年年 近畿大学建築学部建築学科助教、2019 年より現職。専門は建築材料学。建築材料としての土に関する研究をはじめ、天然素材の活用に関する研究を行っている。

主　催　新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業実行委員会
（実施中核館：京都国立近代美術館）

申込方法

参加をご希望の方は、8 月 4 日（日）までに、「感覚をひらく」のウェブサイトよりお申し込みください。申込多数の場合は抽選を行います。なお、抽選の結果につきましては、8 月 5 日（月）より順次お知らせをいたします。

ウェブサイト：　http://www.momak.go.jp/senses/

ステップ 1「建築は、どんな音がしますか？」
雨の日って、いろんな音がしますよね。窓にかかる雨音、それに傘にかかる雨音。いずれも、雨とガラス、あるいは布とが奏でる素材の音です。普段何気なく接している、壁やドア、床も、ノックしてみると、意外な音がしたりします。最初に、どんな素材が美術館に使われているのかを音を頼りに探っていきます。意外と知らない建築の素材の世界を、専門家と一緒に巡りながら学んでいきます。

ステップ 2「音だけを頼りに空間把握」
みなさんで目隠しをして、周りにある環境をノックしてみましょう。さっき聞いた音はありますか？自分がどんな空間に立っているのかを、音を頼りに感じてみましょう。

ステップ 3「つくって鳴らそう建築楽器」
さいごは、建築の素材をつかって楽器を作ります。使う素材は、建設現場でつかわれている本物の建築材料です。コンクリートや木、鉄を組み合わせて、自分だけの建築楽器を作ってみましょう。ワークショップ終了後は、お持ち帰りいただけます。

MoMAK Films

8月24日(土)・25日(日)
学園のドレス・コード

映画の登場人物が着る「服」は、人物たちの「視る／視られる」関係を作るだけでなく、作品の時代や世界、登場人物の個性や心理を表現し、作品のカラーやスタイルも左右する重要な要素です。 本上映では「学園のドレス・コード」をテーマに、4 作品を国立映画アーカイブ所蔵の 35mm フィルムで上映します。厳格な学校生活の中でゆらぎ、まどう少年・少女たちの世界や、好きなことに熱中した 1960 ～ 70 年代の高校生たちの短く切ない青春を、映画衣裳の豊かな表現とともにお楽しみ下さい。

8 月 24 日（土）

14:00-15:30
『1999 年の夏休み』
1988 年
ニュー・センチュリー・プロデューサーズ＝ソニーピデオソフトウェアインターナショナル
90 分・35mm・カラー

16:00-17:36
『櫻の園』
1990 年
ニュー・センチュリー・プロデューサーズ＝サントリー
96 分・35mm・カラー

18:00-19:59
『がんばっていきまっしょい』
1998 年
フジテレビジョン＝ポニーキャニオン＝アルタミラピクチャーズ
119 分・35mm・カラー

8 月 25 日（日）

14:00-16:15
『青春デンデケデケデケ』
1992 年
ギャラックプレミアム＝ピー・エス・シー＝リバティフォックス
135 分・35mm・カラー

©1988 日活 / アニプレックス

© アルゴ・ピクチャーズ

© アルタミラピクチャーズ

©PCS/ 大林宣彦事務所

京都国立近代美術館賛助会員
当館は右記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

＜特別会員＞
木下グループ　FUJIFILM　三井住友銀行
＜一般会員＞
ワコール　KYOCERA　京都中央信用金庫